

# 日本図の変遷 ～赤水から伊能へ～

小野寺淳 平井松午

……10

トの所蔵となった。このため、シーボルトコレクションに含まれたという。

ティツィングの安永版「改正日本輿地路程全図」には、赤字で日本語地名をローマ字表記、地名に対して番号を付与、黒字で伊豆諸島の間にもオランダ語で黒潮の書き込みが確認できる。

ロシアの遣日使節レザノフを乗せたロシア艦隊の司令官クルーゼンシュテルンは日本周辺を測量したが、海岸線を描くことはできなかった。その後、ワイマール大公から贈られた赤水の「改正日本輿地路程全図」をもとに、ティツィングの地名表やロシアへの漂流民であった新蔵と善六らの協力によって日本の地名などを翻訳（校訂）し、ロシア語版『日本帝国図』を作製することができた。

クルーゼンシュテルン『日本帝国図』やシーボルト『日本』などを通じて、欧米列強は日本の海岸線や各地の地名を知ることができ、日本との通商交渉に

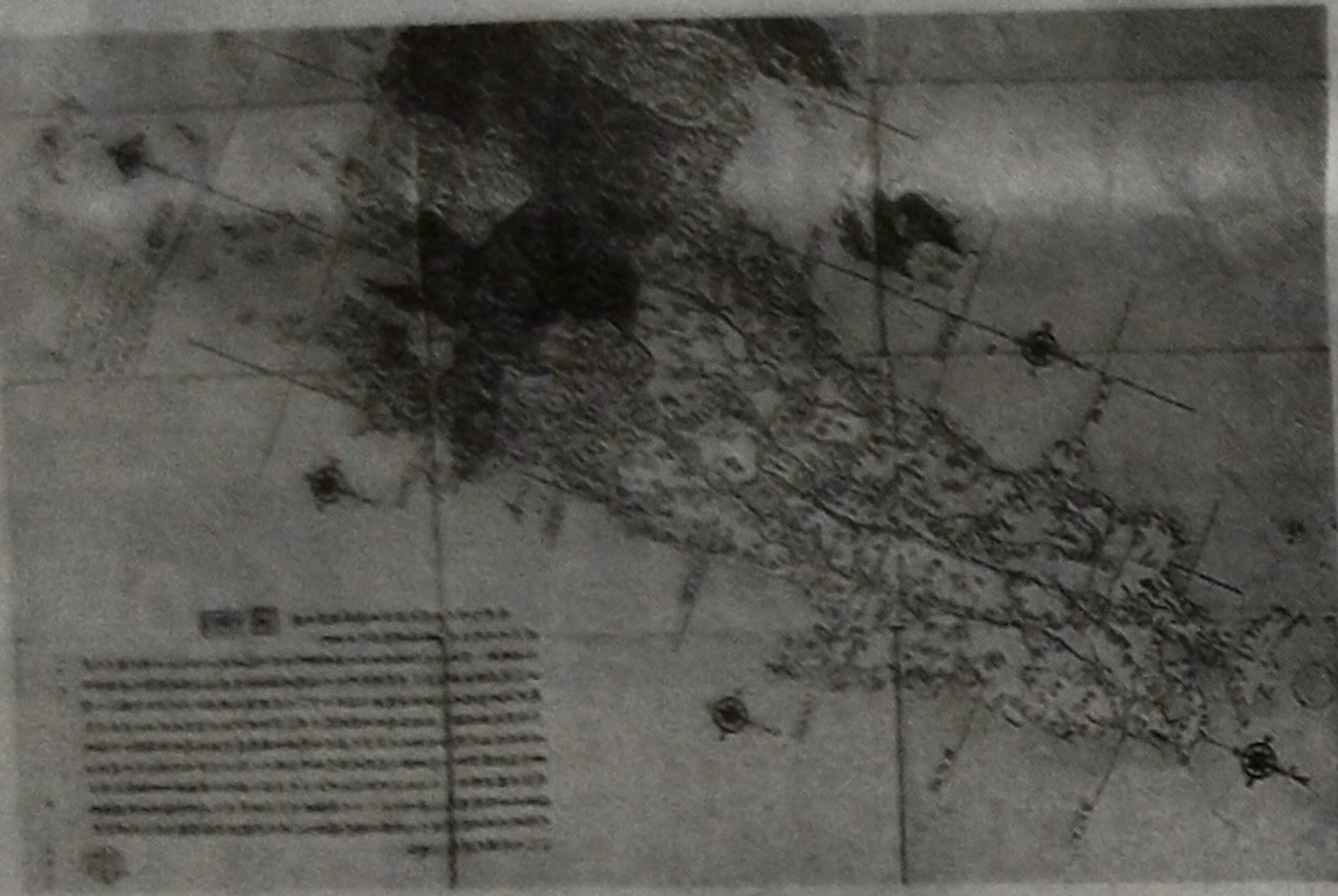
来航することとなる。詳細は、小林茂・大阪大名誉教授ほかの『鎖国時代 海を渡った日本図』（二〇一九年、大阪大学出版会）が参考になる。（おのでら・あつし＝放送大茨城学習センター所長）

## シーボルトが収集した赤水図

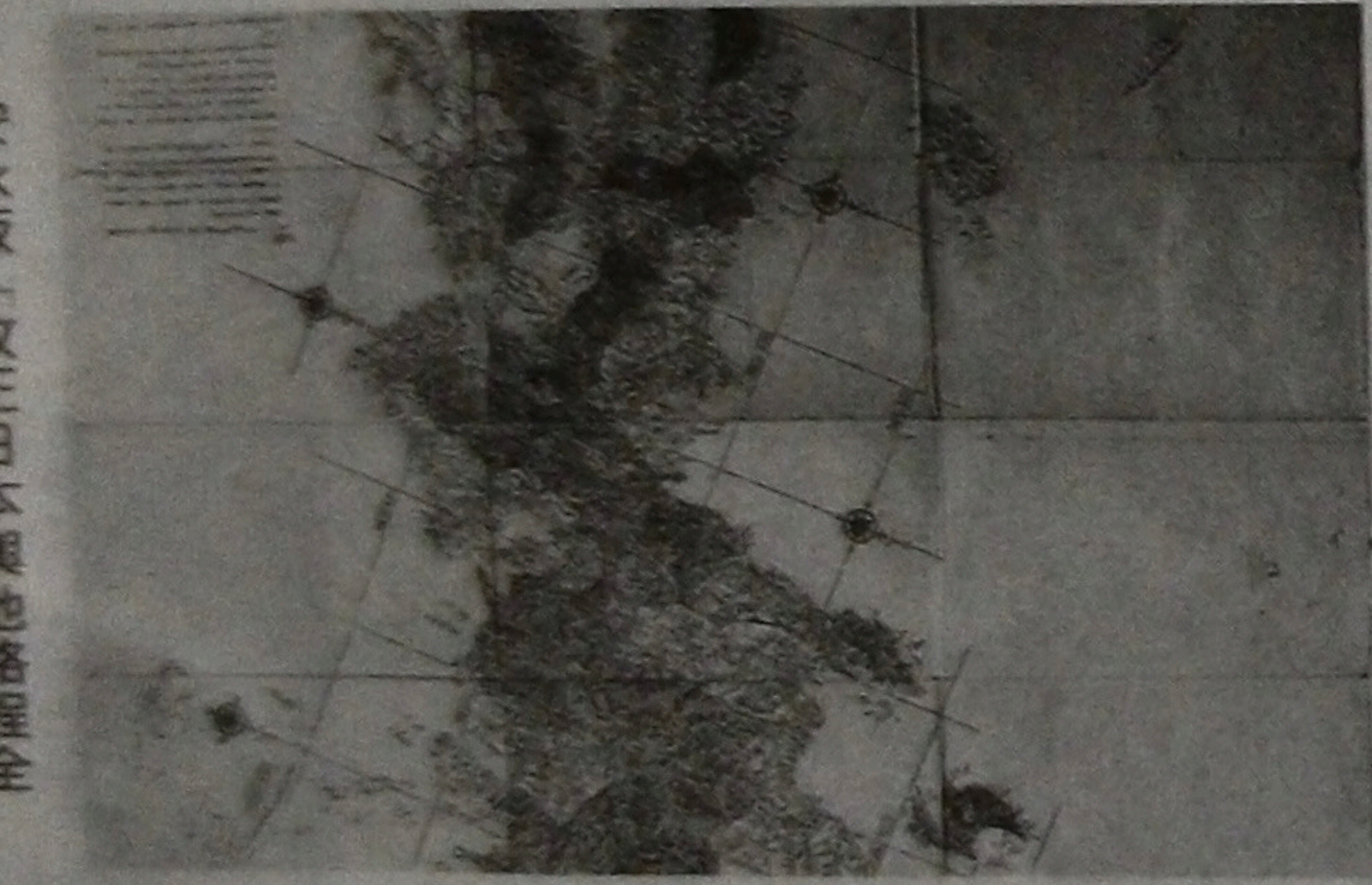
長崎・出島のオランダ商館付  
け医師として、シーボルトが来  
日していた時に購入または入手  
可能であったのは、寛政版の赤  
水図であった。現在、オラ  
ンダのライデン大学図書  
館シーボルトコレクション  
には、寛政版の赤水図  
が五点所蔵されている。

このほか、安永版一点  
が含まれる。松井洋子・  
東京大史料編纂所教授と  
フランク・レクイン（テ  
イツィング記念日欧文化  
交流研究所長）の共著  
「ティツィング・コレク  
ションの長久保赤水『改  
正日本輿地路程全図』」  
（二〇〇九年）によれ

ば、この安永版は一七八  
〇年代前半に長崎オランダ商館  
長を務めたイザーク・ティツィ  
ングが所持していたものであ  
る。ティツィングの死後、競売  
にかけられ、最終的にシーボル



ライデン大学シーボルトコレクション  
Ser. 220a (東日本部分)



安永版「改正日本輿地路程全  
図」。オランダ語で書き込みも